

# 9月定例会 一般質問要旨



## 本市の観光事業における現状の取り組みと今後の計画について —観光事業の現状及び今後の取り組みとアニメによる地域産業活性化について—



弦音会 清水 梨花

議員 テレビの特撮ヒーロー番組や映画、アニメのロケ地に採用されたことで聖地となり、新たな観光資源となっている場所があります。聖地巡礼に多くの観光客が訪れている自治体もありますが、アニメの可能性について、所見を伺います。

産業環境部長 アニメをきっかけに訪れた人が、地域の食や文化、人に触れ、リピーターになるなど、誘客や地域における消費へつながることが考えられます。

議員 過去に金山城跡や太田駅でコスプレイベントが行われましたが、参加者の状況について伺います。



産業環境部長 シティプロモーション事業の一環として、コスプレイベント

を開催しました。平成30年に開催した際には250人の参加があり、31年には177人の参加がありました。

議員 本市には文化財や史跡など、たくさんの魅力あるロケーションがあります。本市に関連したアニメの創作や制作会社の誘致など、観光資源の創出に積極的に取り組むことを提案しますが、市長の所見を伺います。

市長 本市を題材とした作品がありませんので、難しいと考えます。

議員 市の施設を利用し、アニメの企画展やコスプレイベントなどを開催することについて、市長の所見を伺います。

市長 金山城跡や運動公園などさまざまな施設があり、イベントを仕掛ける人がいれば成立すると思います。今後もアニメに限らず、若者がたくさん集まるイベントを検討していきたいと考えます。

### ■その他の質問

・観光地と観光事業の課題と対応について



## ふるさと納税の推進について



創政クラブ 松川 翼

議員 ふるさと納税の返礼品について、クラフトビール「クロア」の缶ビール化を進めていると聞いていますが、現状について伺います。



CHROA

企画部長 本市の返礼品の中で、最も件数の多かった缶ビールですが、昨年9月から取り扱いが中止となり、ふるさと納税額に多大な影響が出ています。そこで、缶ビールは本市にとって有効な商品であることから、(株)夢麦酒太田と年内早期の製品化に向けて推進しているところです。

議員 「クロア」は瓶ビールとしてすでに人気がありますが、太田市産をアピールするために、缶ビールの商品名を「おた金山」や「おた渡良瀬」などに改名することについて、所見を伺います。

市長 面白い提案ですが、「クロア」の缶ビールとして売り出そうと思っています。人気の返礼品となるよう頑張っていきたいと考えており、名前については今後も検討していきたいと思

います。議員 ふるさと納税のパンフレットを作成し、同窓会などで渡したり、群馬クレインサンダースの試合会場で配布したりする取り組みも有効であると考えますが、所見を伺います。

市長 非常に良い提案であると思

### ■その他の質問

○少子化対策、子育て支援について  
・結婚支援について  
・父親の育児参画の取り組みについて



## 太田強戸スマートインターチェンジ周辺開発について



創政クラブ 久保田 俊

議員 新たに開発を計画する強戸地区産業団地の概要について伺います。

産業環境部長 現時点での概要ですが、場所はさくら工業団地の西側の農地、面積は約34畝としており、外周道路や公園、調整池などのインフラ整備も想定しています。

議員 新たな産業団地内に商店や店舗の設置は可能か伺います。

産業環境部長 用途地域は工業専用地域を予定しており、工場、倉庫、事務所などの建設は可能ですが、商店や店舗の建設は認められません。

議員 八王子山公園について、グランピング施設やフィールドアスレチックなどの施設を設置することは可能であるか伺います。

行政事業部長 法令に準じた施設改修などであれば、キャンプ場やアスレチック施設の建設も可能と考えています。

議員 八王子山公園ににぎわいを

創出するためには、思い切ったリニューアルが必要と考えますが、市長の所見を伺います。

市長 国のデジタル田園都市国家構想交付金を活用し、大胆な開発をするのが良いと考えています。ゴーカートや丘陵を活かしたジップラインの設置、オートキャンプ場を含めた宿泊施設など、総合的に考え、補助金が活用できないか検討しています。全体をよく見直して、今までの機能をさらに高めるとともに、新たなアイデアにより、アクティブな場所にしていきたいと考えます。



### ■その他の質問

・各種選挙における投票率の現状と課題について



## 一人ひとりが安全・安心に暮らせるまちづくりについて



太田クラブ 白石 さと子

議員 本市の避難所体制の概要と周知方法について伺います。

総務部長 79カ所を指定しており、災害の規模に応じ段階的に開設し、おた安全・安心メール、市ホームページ、公式LINE、エフエム太郎、群馬テレビdボタンなどで発信します。避難所の開設場所は令和3年3月に避難所マップを作成し、全戸配布により周知を図りました。

議員 避難所79カ所のうち、福祉避難所の状況について伺います。

福祉こども部長 7カ所の福祉避難所を指定しており、今後、民間福祉施設を福祉避難所として活用するため協定を締結し、拡充に努めていきたいと考えます。

議員 福祉避難所の増設について、民間福祉施設と協力して拡充する際、市内にバランス良く配置する必要があると考えますが、市長の所見を伺います。

市長 災害時に安心して過ごせる場所の確保が必要だと考えますので、

福祉避難所は増設するべきだと考えています。

議員 自力で避難所へ行くことができない高齢者などが避難する際に、マイクロバスなどで移送支援を行うことについて、所見を伺います。

市長 消防団との連携を強化することで、マンツーマンでの移送が可能となると考えますので、計画の中に明記していければと思います。

議員 ふれあい相談員と民生児童委員が連携を密にすることで、サポートが必要な人の取りこぼしがなくなると考えますが、所見を伺います。

市長 平時から連携を密にし、支援が必要な人に対しては、共同して対応していく体制を作っていきたいと考えます。

